

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第3回労働施設検討会議 議事要旨

1 日 時 平成28年1月22日(金) 午後6時45分～午後8時45分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(有識者2名)

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政機関9名)

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

(地域メンバー21名)

角田萩之茶屋連合振興町会長 第5町会長

西村萩之茶屋第1町会長

川村萩之茶屋第2町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

西口萩之茶屋第6町会長

茂山萩之茶屋第9町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

山田 NPO 法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田社会福祉法人大阪自彊館第二事業部長

村井西成区商店会連盟会長

山田 NPO 法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の現状等について

- ・大阪における雇用情勢等について
- ・あいりん労働公共職業安定所
- ・公益財団法人西成労働福祉センター

5 議事要旨

(1) 進行の概要

大阪労働局から大阪における雇用情勢等について、及びあいりん労働公共職業安定所（以下、あいりん職安）の業務内容について説明を行い、続いて、公益財団法人西成労働福祉センター（以下、西成センター）から財団の業務内容について説明を行った後、意見交換を実施。

(2) 主な意見等の概要

- ・大阪市の労務単価は15,000円、何で張り出されると9,000円や10,000円になるのか。権限はないが、お願いすればよい。
- ・労働行政は大阪府と国と今までどうだったのか、これからどうなるのかは、大きな話。何が必要で、何が間違っていたのか、どこに問題があったのか、まち全体がいろんな影響を受けて背負ってきた。この機会に検証し直すことが大事。
- ・職安が仕事の紹介をすれば、センターは職業紹介から手を引き、輪番も含めて職安ですればよいとなり、規模の話と建物の中身の構成が変わってくる。
- ・職安は職業開拓をする意思はあるのか。
- ・センターの労働者の中で住民票を持たない人はどれくらいいて、その人の救済は考えているのか。
- ・マイナンバーがないと日雇ができないのか。
- ・あいりん地域のまちづくり会議で、西成区は子育て世代を呼び込むとは、子供たちのためにというコンセプトで動いているはず。
- ・若い人が訪れるような労働施設にすることが必要。
- ・府の就労斡旋と国の労働部門とが二重になっている部分は、なぜなのか疑問。
- ・西成区の人口も昭和37年当時の半分。いろんな人が流入してこない地域と地域の活性化はなかなか望めない。もっと人が入りやすい環境作りが必要。
- ・いろんな就労の機会がここにあって、先端的な情報の中で新しい就労の形ができあがっていくことになれば、ありがたい。
- ・大阪府は松井知事が言ったことを、どういうふうの方針としてもっているのか。
- ・昨年1月の大阪市の議論の集約を受け、大阪府がリードしているこの議論、提案を国・府はどのように受け止めているのか。
- ・2時間しか働けない労働者もおおり、その人たちの求人をどうしてゆくのか。
- ・若い人で働くことが困難な人たちがいろんな生活支援を受けながら自立していけるような議論も併せてすべき。
- ・今後は機能の話に進むと思うが、機能がなぜ必要なのかも教えてほしい。
- ・少なくとも大阪府が出てこないのは絶対おかしい。大阪府としてこの場に参加するようお願いすべき。

(3) 今後の対応

- ・今回の会議であった意見・質問等を整理し、次回の会議で回答できるものは回答し、議論を深めていく。

6 会議資料

- (1) 求人・求職状況速報等(平成27年12月24日大阪労働局発表のプレスリリース資料)
- (2) あいりん労働公共職業安定所の業務取扱状況及び手帳所持者数・就労斡旋者数の推移
- (3) 公益財団法人西成労働福祉センター資料「応援しまっせ あなたのやる気」